

調達DX ～データドリブン調達の実現～

調達DXを求める背景

グローバルなビジネス環境において、企業が直面する課題は多岐にわたります。例えば、市況の変化が激しく、価格妥当性の分析が難しくなることがあります。また、サプライヤの評価が適切に行われず、品質低下や納期遅延が発生することもあります。こうした課題を解決するために、調達業務に存在するあらゆる情報を収集・分析・活用し、最適な調達戦略を策定するデータドリブンでの調達推進が必要となってきています。

企業が直面する課題

市況変化が激しい中、価格妥当性の評価ができず、コストの無駄遣いが発生

サプライヤ評価情報が適切に取れず、物品の品質低下や納期遅延が発生

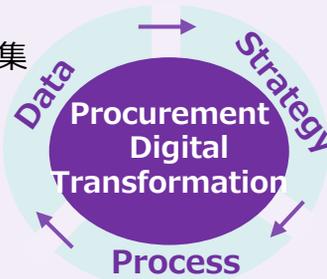
グローバル調達に関わるサプライヤ管理やカテゴリ戦略が不十分

経営から求められる調達機能への要請が拡大、業務コストが肥大化

調達DXが実現する世界

調達業務に存在するあらゆる情報を迅速に収集・分析

- ✓ 調達システムから注文検収情報を収集
- ✓ 標準見積様式
- ✓ サプライヤ評価情報
- ✓ 取引先・商品情報
- ✓ 可視化レポート



データ活用による最適な調達戦略策定

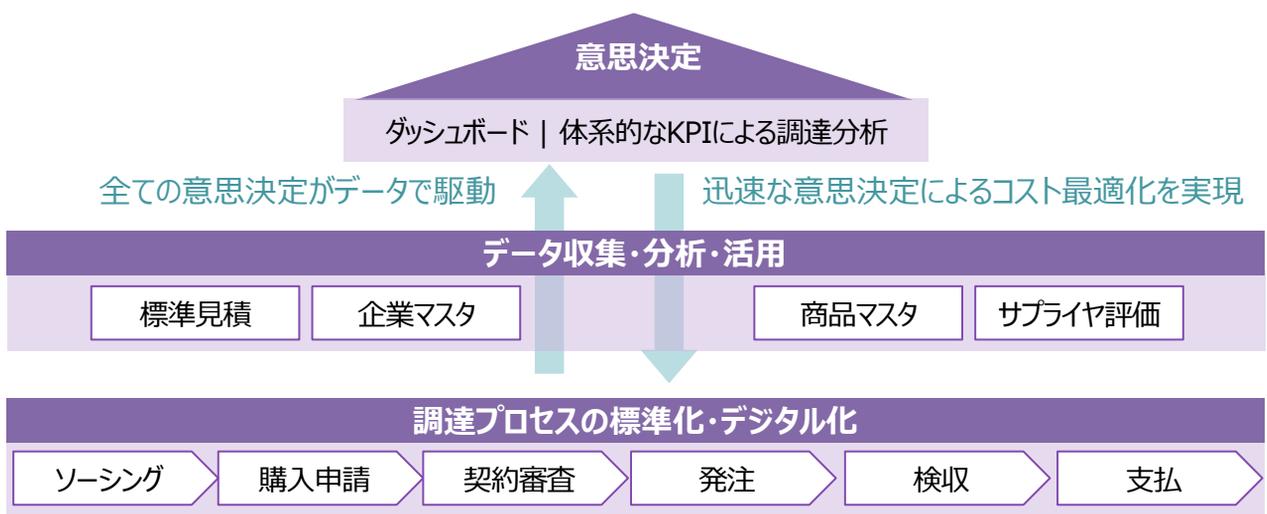
- ✓ 市況変化予測・分析
- ✓ 価格妥当性分析
- ✓ コスト構造可視化
- ✓ 最適なコスト削減
- ✓ カテゴリ戦略
- ✓ 戦略的サプライヤ管理

迅速かつ最適な意思決定に基づく調達業務実行

- ✓ 調達オペレーションの迅速化・高度化
- ✓ コンプライアンス違反検知・防止

調達DXのアプローチ

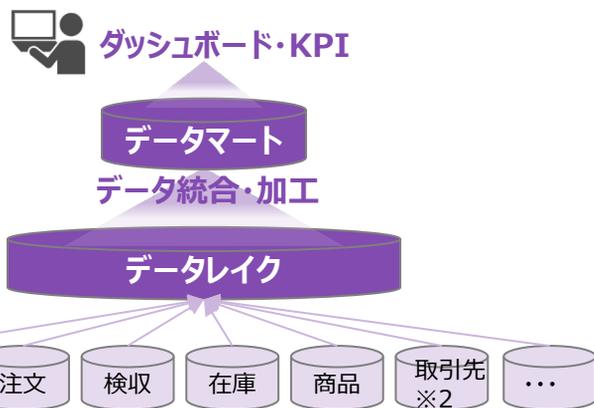
購買部門においては、データと最新技術を活用して迅速な意思決定が求められます。調達プロセスの標準化・デジタル化を実現することで、リアルタイムで適切なデータを収集・分析・活用することが必要です。これにより、迅速かつ正確な意思決定を行い、コスト最適化を実現することができます。QUNIEはプロセス改革とデータを活用する仕組みの構築により、データに基づいて意思決定を行う調達DXの推進を支援します。



データを活用する仕組みの構築事例

QUNIEは、多くの企業に対し、調達データの活用分析手法の策定、それに応じたダッシュボード／サブダッシュボード／KPIの構築、さらには業務設計、標準見積様式の作成、取引先の管理など、幅広い領域で支援しています。

調達データ活用基盤

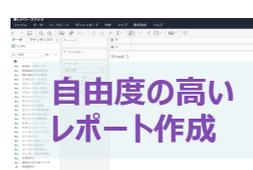


※1 項目の粒度が等しい標準見積様式の導入により、明細の価格・数量・納期を明確にすること

※2 統一取引先名称を利用することで重複したデータを排除し、名寄せコストを削減

提供する具体的な価値

- 会社全体の調達データの可視化
- 高度分析の容易化



計画策定から運用定着までの支援内容

QUNIEは計画策定から構築・展開、およびその後の運用定着化に至るトータルソリューションにより、貴社の調達DXを支援します。弊社の強みである「組織・業務プロセス」「調達DX人材育成」まで踏み込んで改革を具現化するとともに顧客が持続的に改革推進できる仕組み・ノウハウを提供します。

プロジェクトフェーズ



〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F
 TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293
 Email: info@qunie.com https://www.qunie.com

NTT Data Trusted Global Innovator
 NTT DATA Group